

# 工業デザイン

## 技能身に付け 就職を有利に

### 講座やセミナー 鳥取で来月始動

身近のあらゆる製品をデザインするプロダクトデザイン(工業デザイン)の技能を、雇用につなげるセミナーとデザイナー育成講座が2月から、鳥取市内で始動する。市雇用創造協議会(会長・竹内功市長)が、事業者向けの雇用拡大メニューと、求職者向け人材育成メニューの一環として、民間団体と連携し

て企画。求職中の人たちの再就職に役立ててもらおう考えた。

プロダクトデザインは、商品開発などに欠かせない技能。講師は、第一線で活躍する日本デザイナー事業協同組合の植木誠理事長、日本の横田英夫副理事長などが担当。

特にプロダクトデザイナー分野で国内唯一の全国組織であるJIDAは、プロダクトデザイン検定(1級、2級)制度を設けており、検定はデザイン知識レベルの証明としても役立つ。

今回の育成講座では検定資格に必要な基礎知識を学ぶが、専門技能の習得で、キャリアアップや魅力ある商品開発に携わることができる。

得して就職を有利に進めてもらい、雇用の拡大につなげたい」と期待している。



雇用の拡大につなげようと、セミナーと育成講座の参加を呼び掛けるチラシ

植木理事長は「デザインをしていく上で、正しい方法論や知識、事例を実践的に学ぶことができて人材の高度化につながる。企業側にもプラスになり、商品開発をしたい人などに参加してほしい」と意欲をみせている。

市雇用創造協議会は「この機会に技能を習得して就職を有利に進めてもらい、雇用の拡大につなげたい」と期待している。

セミナーは2月7日に同市の県民ふれあい会館が会場。商品創造開発型企業を自指す事業者が対象(定員25社)となる。育成講座は市内在住の求職活動中の人が対象(定員15人)で、同月8日から約1カ月にわたって県民ふれあい会館などで開催。ともに参加無料となっている。